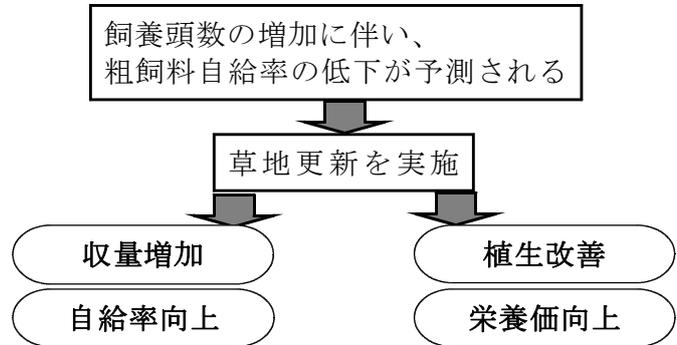
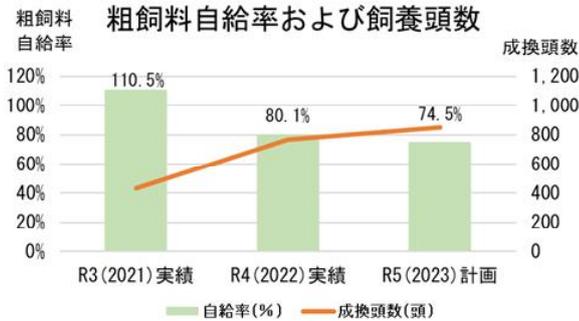


大型酪農法人における良質粗飼料の確保

～ 法人を中心に元気な地域づくり ～

[八雲町上八雲 3戸（うち協業法人1戸）] （渡島北部支所） （課題番号7）

1 課題の背景



2 活動内容（経過）

草地ほ場台帳の整備

- 植生の状況確認
- 草地更新計画の作成

草地更新の指導

- 除草剤の使用方法
- 土壌水分、越冬前の気温を考慮した、は種施工のタイミング
- 牧草の生育や雑草の侵入状況を考慮した、収穫のタイミング

更新後草地の検証

- 更新後30日目の栽植密度調査
- 1番草収穫後の植生調査
- 越冬前調査の植生調査
- 報告検討会の実施



植生調査

3 活動成果

全面積の約17%を更新

	全面積	375.1 ha
春更新	31.0 ha (8.3%)	63.5 ha (16.9%)
秋更新	32.5 ha (8.6%)	

越冬前の目標値を概ねクリア

越冬前調査	牧草 (%)	雑草 (%)	裸地 (%)
目標値	80以上	10以下	10以下
実測値	78.4	10.8	10.8

草地更新における課題

- 春更新 ～当年の収量確保と雑草対策として、麦類同伴は種を実施～
 - ・ は種後に十分な降雨がなかったため発芽率が低かった。
 - ・ 麦類と牧草が同時には種されたため、麦類の覆土が浅く発芽が緩慢であった。
- 秋更新
 - ・ ギシギシやリードカナリーグラスが旺盛なほ場において、耕起前に除草剤処理しなかったほ場では雑草の再生が見られた。

4 今後に向けて

- 計画的な草地更新と施工方法の継続
- 春更新における麦類同伴更新技術の確立
- 除草剤の適正使用の徹底
- 適正な肥培管理の徹底による植生維持

